



お知らせ

10月の「私の履歴書」

日本政策金融公庫代表取締役総裁

安居祥策氏

1935年(昭和10年)生まれ。1960年京都大学卒。昭和32年帝人入社。平成17年6月相談役。社長再任中にアドバイザーボードの導入や積極的な買収・提携戦略を実施し帝人を活性化。平成20年10月日本政策金融公庫代表取締役総裁に就任。どうぞご期待下さい。

NIKKEI NEWSは、
話題になった記事のご紹介や、
見逃せない紙面予定の
お知らせ、
お届けの販売店から
お得なニュースなどを
お届けしていきます。



TOPICS—最近話題の紙面から

◆日本経済新聞から 底入れ景気、持続に閉門 成長復帰、政策が支え

9月28日(月)、恒例の四半期景気動向分析をまとめ、その中で「底入れした景気の持続力には不安が残る。16日に発足した鳩山由紀夫新政権の経済運営が試される」と指摘しました。未曾有の金融危機が峠を越え、日本経済はプラス成長に復帰しました。輸出と生産の増加が景気の持ち直しをけん引しています。ただ、世界的な財政出動に支えられている面が大きく、本格的な回復にはほど遠いといえます。個人消費や設備投資の足取りは重いままです。新政権は改善に向かう日本経済を引き継ぎましたが、その地盤はまだもろい状態。景気改善の動きを本格的な回復につなげるには「3つの閉門」を越えなければなりません。第1は雇用・所得環境の悪化からくる家計部門の萎縮。さらに家計部門には老後の不安という第2の閉門も立ちふさがります。第3の閉門は企業部門に残る弱さです。

◆日経産業新聞から KDDI研、カメラ8台分の高精細画像を圧縮送信

9月24日(木)の日経産業新聞によりますと、KDDI研究所は8台のカメラで撮影したフルハイビジョン動画をまとめて圧縮し、リアルタイムで送信する技術を開発しました。サッカーなどのスポーツ中継に利用すれば、視聴者はテレビで好きな位置のカメラを選んで観戦できます。複数台のカメラで同じ被写体を同時に撮影した映像は「多視点映像」と呼ばれます。視点が近いカメラ同士の絵柄は類似するので、似ている部分の映像データを省略でき、異なる被写体を撮影する場合よりも圧縮率を高めることができます。例えば、サッカー中継なら「晴れた空」などの映像情報は省きやすいといえます。KDDI研は、親会社であるKDDIが光回線で提供している映像配信サービスのスポーツ番組などで、新技術を実用化。さらに家電メーカーなどと共同で新技術に対応する家庭向け受信機の開発も進める計画です。

NIKKEI

お届けの販売店からのお知らせ

道新 (有)中川新聞店

〒063-0012

札幌市西区福井6丁目7-1



0120-104-291

FAX

662-6119

<http://www.doshin-nakagawa.com/>

